

<コンセプト実現に向けた課題（堺旧港）>

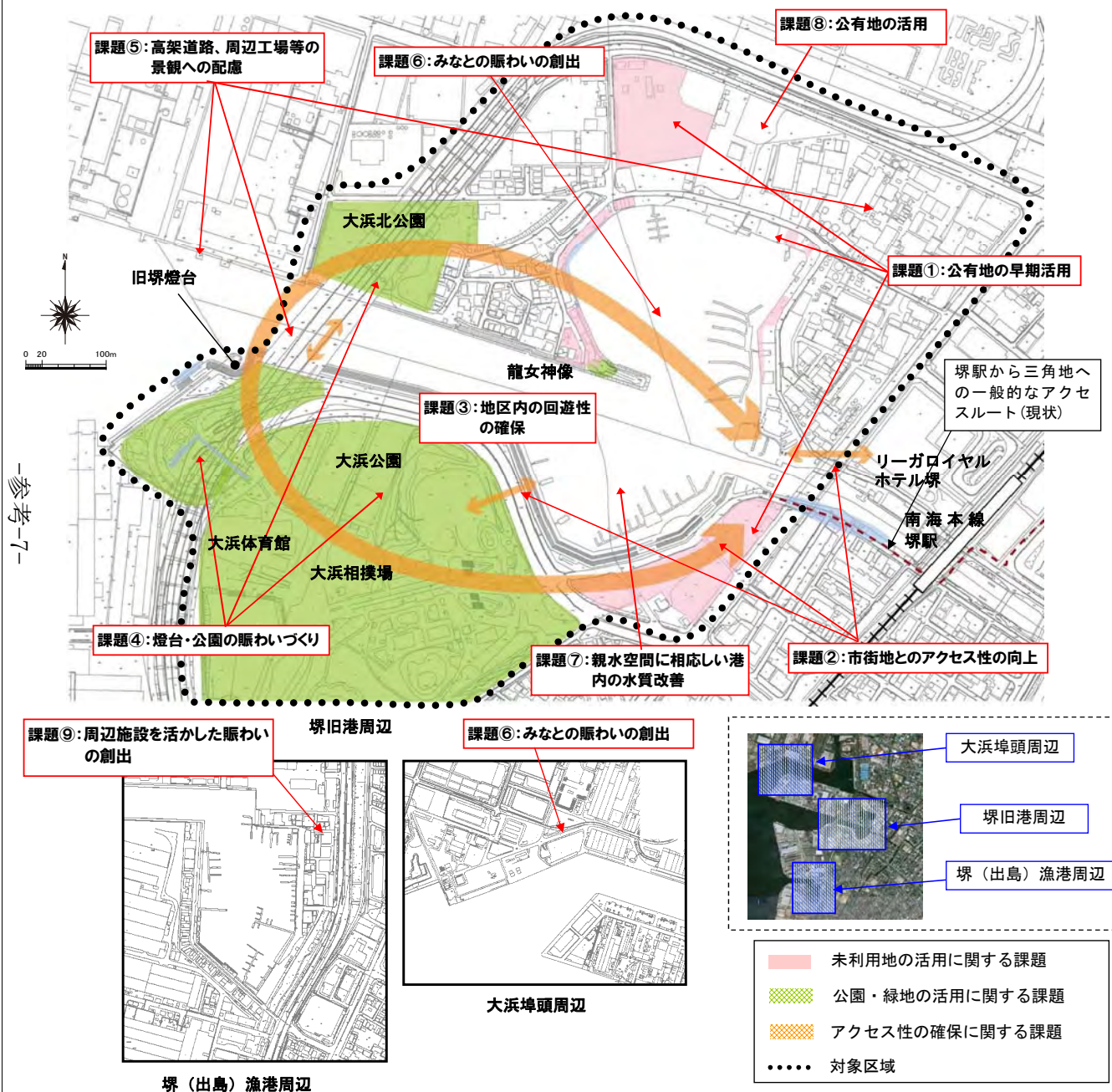


図 コンセプト実現に向けた課題（堺旧港）

課題①：公有地の早期活用

堺旧港の間に市有地があり、地区の活性化には優位なポテンシャルを有している。
龍女神像周辺緑地を含めて一体的な利用がなされていない。
市民のニーズからは行きたくなる・楽しめる・憩える交流施設の整備・誘致を求め
る声が上がっている。

課題②：市街地とのアクセス性の向上

堺旧港へのアクセスは、一般国道 26 号や堅川で分断されているため、歩行者は迂回を強いられている。
相互アクセスを示した案内板等は設置されているものの不明瞭で、アクセス性が損なわれている。
市民ニーズからも堺駅からのアクセス性に対する改善を望む声が上がっている。

課題③：地区内の回遊性の確保

旧堺燈台や龍女神像などの歴史的建造物が存在しているが、入り組んだ地形のため、気軽に安全に回遊することができない。
大浜公園と大浜北公園間のアクセスが容易ではないため、一体的に利用されていない。
相互アクセスを示した案内板等は設置されておらず、回遊性が損なわれている。
市民ニーズからも、堺駅と旧港内の回遊性の向上を望む声が上がっている。

課題④：燈台・公園の賑わいづくり

燈台周辺緑地には、歴史的な文化遺産が多数存在しているが活用されていない。
当地区に対するスポーツ需要は高まっており、体育館の建替にあわせたリニューアルの検討が必要となる。
大浜公園とのアクセス性が悪く、一体的な利用ができていない。
阪神高速湾岸線大浜ランプ下は、草木が茂っており国指定の史跡に対して相応しい周辺整備がなされていない。明確な案内表示がなく、気軽に安心して立ち寄ることができない。
市民のニーズからは、臨海部の親水公園・緑地の整備推進を望む声が上がっている。

課題⑤：高架道路、周辺工場等の景観への配慮

階段式の親水護岸や旧堺燈台、リーガロイヤルホテル堺等の良好な視点場があるが、周辺の高架道路や工場景観の配慮が必要である。
江戸時代から残る石積み護岸、砲台跡など貴重な資源を有しており、保全・活用していく必要がある。

課題⑥：みなとの賑わいの創出

中世、堺は世界各国との交易が盛んに行われ、人・物・情報が行き交う国際貿易都市として繁栄した面影がなくなっている。
良好な親水空間及び良好な視点場が確保されている整備済みの南側護岸前面の水域は、マリーナなどにも使用されている。
また、東洋一のリゾート地とうたわれたかつての賑わいの面影はみられない。
北側護岸は水際線に近づけない箇所もあり、早急に整備が望まれている。
市民のニーズからは臨海部の賑わい、親水空間の整備推進を望む声が上がっている。

課題⑦：親水空間に相応しい港内の水質改善、

夏場は悪臭等もひどく、親水空間として利用することが難しい状態である。
市民のニーズからも、水質環境の改善を望む声が上がっている。

課題⑧：公有地の活用

堺旧港には未利用の公有地が存在するが、旧港護岸より離れており、単独での利活用は困難である。

課題⑨：既存賑わい施設の活性化

休日には賑わいがあるものの、平日には有効な活用がされておらず、他施設の連携等によって更なる賑わいを創出していく必要がある。

1.2 堺浜

活性化コンセプト:「環境創造のシンボル・魅力あるウォーターフロントの形成」

【課題1】 自然環境の再生・創出

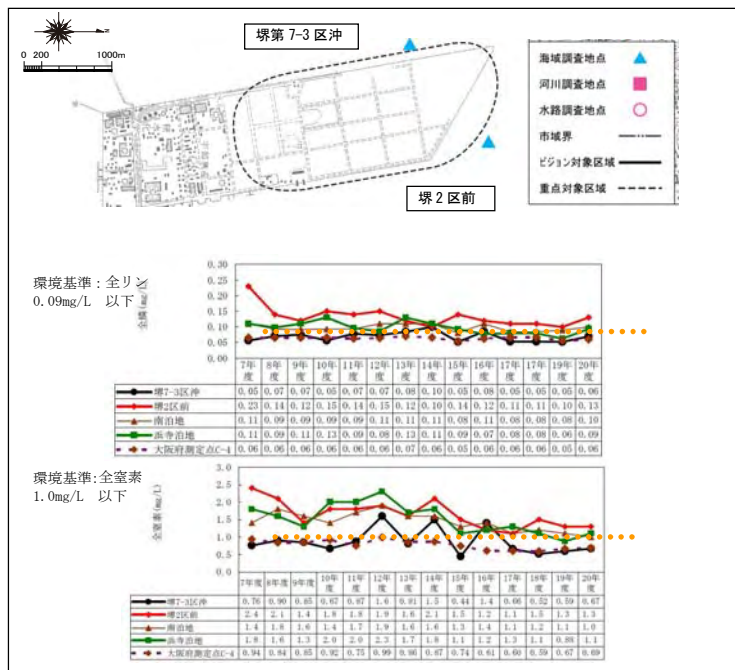
堺浜周辺には、窪地が存在することによる海域低層の貧酸素状況を引き起こし、**水質が低下**している可能性があります。

堺浜においての水質調査結果によると、全窒素および全リンが**環境基準を上回っており生物の生息環境に相応しくない条件下**にあります。

市民のニーズからは水と触れ合うことができる場所を望む声が上がっているものの、良好な水質環境は確保できておらず、ヘドロの浚渫等による**水質改善**を望む声も上がっています。

水質改善の取組みのひとつとして、北泊地において生物共生型護岸の実験が行われており、継続的なモニタリングが実施されています。

以上より、堺浜においては「**自然環境の再生・創出**」が必要です。



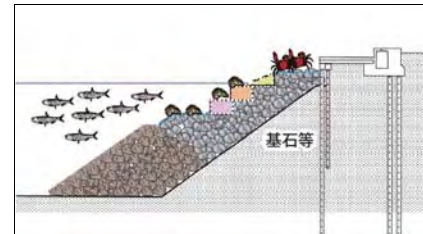
出典：大阪湾再生行動計画 平成16年度から平成21年度までの活動報告とりまとめ

図 環境基準を上回る水質調査結果

【課題2】 地球環境問題対応への期待

堺市では市街地中心部を中心に**ヒートアイランド現象等が問題**となっており、堺浜は海域を利用した**地球環境問題への対応が期待**されています。

堺浜では生物共生護岸の整備、大和川河口部の汽水域を活用した生物生息空間の保全・向上等、**生物多様性保持への取組み**が行われていますが、臨海部には緑地面積に比べて生物の生息数が少ない等の指摘もあり（自然保護系 NPO）、今後も生物多様性の確保に向けた一層の努力が求められています。



出典：国土交通省近畿地方整備局 HP より

図 生物共生護岸のイメージ



出典：大阪湾再生計画 HP

図 大和川河口部の汽水域

一方、市民ニーズからは**環境改善・保全活動**に対する期待の声が上がっています。

以上より、堺浜においては「**地球環境問題への対応**」が必要です。

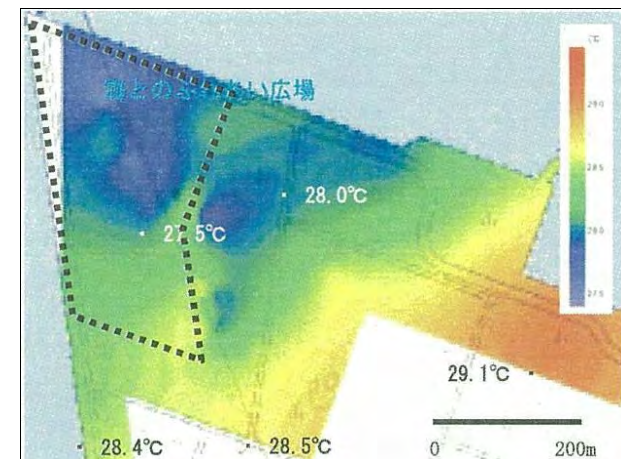


図 堺浜におけるヒートアイランド現象対策調査結果